

三ツ滝

三ツ滝は下呂北部、飛騨小坂にある三段の滝です。水が滝の上を流れ、合わせて 22 メートル落下します。中段の落差が一番大きく 11 メートルあります。中段の横の岩壁には小さな空間があり、修験者の信仰を集める不動明王像が安置されています。民間伝承によると、有名な僧侶で彫刻家の円空（1632 年-1695 年）がかつてここで瞑想したとされています。この空間は「瞑想の岩」（座禅岩）と名付けられました。

三ツ滝は約 5 万 4 千年前の溶岩流によって形成された地形を廻る 5 キロメートルの環状遊歩道にあるいくつかの観光スポットの 1 つです。遊歩道は巖立公園からスタートし、玄武岩層や多くの滝を通して巖立公園で終わります。巖立公園から三ツ滝までは 10 分です。遊歩道を 1 周するには約 3 時間かかります。